

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第21回相模原市観光振興審議会				
事務局 (担当課)		市長公室 観光政策課 電話042-769-8236(直通)				
開催日時		令和6年5月1日(水) 午前10時15分から正午まで				
開催場所		相模原市役所本庁舎 第2別館3階 第3委員会室				
出席者	委員	8人				
	その他	-				
	事務局	7人(有馬SDGs・シビックプライド推進担当部長ほか6人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 委員の紹介 3 相模原市観光振興審議会について 4 会長・副会長の選出 5 議題 (1) 第3次相模原市観光振興計画について (2) 令和6年度の取組について 6 その他 7 閉会				

審 議 経 過

1 開会

2 委員の紹介

3 相模原市観光振興審議会について

本審議会の概要について、事務局が説明を行った。委員の意見は特になし。

4 会長・副会長の選出

委員の互選により、会長に梅川委員、副会長に吉村委員が選出された。

5 議題

(1) 第3次相模原市観光振興計画について(報告)

当該計画について、事務局が説明を行った。委員の主な意見は次のとおり。

- 昨年度に行った計画の改定について、どういった視点をもって改定されたのか、その時の委員の雰囲気など教えていただきたい。(梅川会長)
「密を避けた」や「近場の旅行」といったコロナを踏まえた変化を意識して、前向きな議論が進んでいた。(佐藤委員)
- 市内には素晴らしい場所が多いと感じているがスポット的になっており、その場で楽しんで終わってしまっているように感じている。点を線でつなぐような取組が必要である。
また、市内の道路は、非常に混雑している。道路が整備されることが望ましいが、困難であれば、渋滞情報などが分かるとおもてなしにもつながり、よいと思う。(根本委員)
道路整備は観光施策の視点のみでの解決は難しいと思うが、誘導はソフト面で対応できる可能性を感じる。(梅川会長)
- トイレの清潔さも重要な視点であり、きれいなトイレがあると良い印象が残るものである。(根本委員)
個人的な視点ではあるが、いわゆる観光先進国のトイレはきれいであり、安全面や衛生面は重要と感じている。(小泉委員)
- 指標 の観光意欲度が平成30年度から上昇していることについて、どこに本市の魅力を感じているかを把握して、そこを強化していくことが重要である。
また、例えば、千葉県富里市で有名なスイカにちなんだスイカロードレース大会というイベントがあり、たくさんの方が集まっている。スポーツと絡めたイベントは、市の知名度を高めることに非常に有用である。(小泉委員)
- 緑区の観光振興を進めていきたいが、橋本駅から鳥居原ふれあいの館までのバス

路線など、公共交通機関を利用する人がほとんどいないのが現状である。観光客に多く来てもらうためには重要な部分であると思う。(八木委員)

ライドシェアの導入検討や、公共交通機関とライドシェアの実証実験などを考えてみることも良いと思う。(梅川会長)

- 入込観光客数が増えていても観光客消費額が下がっている状況であることから、入込観光客数と観光客消費額の相関関係を分析する必要があると感じる。コロナ禍において観光客の動きや消費傾向が変わってきており、入込観光客数をコロナ禍前に戻せたとしても、おそらく観光客消費額が同様に戻ることはないと思う。(中嶋委員)

同様の考えであり、表面的な数字だけでは判断ができないため、詳細な内訳を把握して判断していくべきと思う。

民間ではコロナ前後で客層・ターゲットが変わっている。本市の観光を他の市町村とどのように差別化するか、方向性の検討が必要ではないか。(梶原委員)

- 観光を進めるにあたっては、人材育成・地域連携・安全の確保が重要と思っている。しかしながら、人材育成の前に人手不足であり、そもそも担い手の確保が難しい状況である。また、不十分な地域間の連携をどのように結び付けるかということや、計画ではあまり触れられていない安全性の確保も、今後、検討していくべき課題であると思う。(吉村副会長)

(2) 令和6年度の取組について

今年度の取組について、事務局が説明を行った。委員の主な意見は次のとおり。

- コロナが落ち着いてきた現状、ワーケーションのニーズについてどのように考えているか。(梶原委員)
- ワーケーションの取組を進めたことがあるが、需要をあまり見出すことができず、健康回復や健康増進を図るヘルスツーリズムのほうが需要があると感じた。(八木委員)

観光需要の変化はあるが、コロナ禍を経てワーケーションという新たな分野が開かれた現状、首都圏から近い距離であるにも関わらずキャンプ場が集積している本市の強みを活用し、ワーケーションを掘り下げていきたいと考えている。(鈴木課長)

- 上大島キャンプ場では桜・あじさい・彼岸花によって春・夏・秋と季節ごとに来訪してもらえるような工夫をしている。イベント等を単発で終わらせるのではなく、そこから繋げて通年の安定的な誘客を目指すには、四季を感じられる企画や観光資源が必要と考えている。(吉村副会長)
- シティプロモーションと観光政策は違うものであり、シティプロモーションは気軽に来れることをアピールするが、気軽に来れるということは日帰りで帰ってしま

うことにつながる。観光政策は、長く滞在してお金を地域に落とさせていただくことで、地域活性化につながるものである。観光の側面からは、気軽に都心から来れるということをアピールポイントとするには違和感を感じる。

5つの湖がある場所は珍しい。イギリスでいうレイクディストリクトのような、水の豊富な地域であることをアピールしても面白いかもしれない。(梅川会長)

- TVを見ていると、他の市町村におけるライトアップの見せ方に魅力を感じる。

(根本委員)

観光客を集めるだけでなく、日中・夜間と観光客が集まる時間の平準化に寄与するものと思う。(梅川会長)

6 その他

- 会議の議事録は事務局が作成するのでご確認をお願いする。また、次回は2月頃に開催する予定である。(鈴木課長)

7 閉会

第 2 1 回相模原市観光振興審議会 委員名簿

区 分	氏 名	所属団体等		備考	出欠席
		名称	役職等		
学識経験者	梅川 智也	國學院大學	教授	審議会 会長	出席
	小泉 京美	相模女子大学	教授		出席
公募委員	八木 泰子	公募委員	-		出席
関連団体	小野沢 健二	津久井地域商工会連絡協 議会 相模湖商工会	事務局長		欠席
	根本 敏子	(公社)相模原市観光協会	副代表理事		出席
	吉村 幸弘	大島観光協会	会長	審議会 副会長	出席
民間事業者	梶原 英俊	相模湖リゾート(株)	代表取締役 社長		出席
	佐藤 賢策	東日本旅客鉄道(株) 橋本駅	駅長		出席
	中嶋 博茂	(株)J T B 相模原支店	支店長		出席